

平成27年度 三次郷心会 役員会・交流会開催

本年度の第2回役員会が、11月30日(月)、グランラセーレ三次にて開催されました。交流会には増田三次市長、下森県議会議員、沖原市議会議員、細川会頭も加わり、29名の出席者のもと開催されました。

役員会では、平成27年度事業経過報告と中間収支報告、および平成27年度下期活動案が承認されました。交流会では、御来賓の挨拶の後、沖原議長による乾杯のご発声で始まり、あちこちで活発な歓談が交わされ、大変盛り上がっていました。

諸般のご事情で今回欠席となられた役員様には、次回は是非とも出席されますよう、お願い致します。



「ロードスター」が2015～2016 日本自動車殿堂カーオブザイヤーを受賞



日本自動車殿堂 カーオブザイヤー



マツダ(株)は、新型「マツダロードスター」および新型「ロードスター」の開発グループが、特定非営利活動法人(NPO)の日本自動車殿堂(小口泰平会長)による、「2015～2016 日本自動車殿堂カーオブザイヤー」を受賞したことを発表しました。

マツダ車による同受賞は、2003～2004の「マツダRX-8」に続いて3回目となります。

「2015～2016 日本自動車殿堂カーオブザイヤー」とは、特定非営利活動法人(NPO)が、その年に「最も優れた乗用車・輸入車・デザイン・テクノロジーおよびそれらの開発グループ等」を表彰するものです。

新型ロードスターは、SKYACTIV 技術とデザインテーマ「魂動(こどう)」を採用し、人が車を楽しむ感覚の深化に徹底的に取り組み、「人馬一体」の楽しさを追求した、後輪駆動(FR)の2シーターライトウエイトオープンスポーツカーです。

また、同2位には「CX-3」が選ばれました。

新型3列ミッドサイズクロスオーバーSUV「CX-9」を世界初公開 —新開発の2.5L直噴ガソリンターボエンジンを搭載—

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、ロサンゼルスオートショーにて新型SUV「CX-9」を世界初公開しました。新型「CX-9」は、新世代技術「SKYACTIV 技術」とデザインテーマ「魂動(こどう)」を全面的に採用した新世代商品群のハイエンドモデルです。北米戦略モデルとして、2016年春より、北米から順次販売を開始する予定です。

新型「CX-9」は、主に成熟したファミリー層を対象に、機能やスペックを超えた上質な心地よさを備えたクルスオーバーSUVとして開発しました。よりプレミアムな世界観を追求した最新の「魂動」デザイン、上質さを高めた「人馬一体」の走り、卓越した燃費性能はもちろん、先進安全技術「i-ACTIVSENSE(アイ・アクティブセンス)」や新世代4WDシステム「i-ACTIVAWD」使いやすく快適な室内空間で、現代の家族のニーズに応えます。また、パワートレインには新開発の2.5L直噴ガソリンターボエンジン「SKYACTIV-G2.5T」をマツダ車として初めて搭載します。

「今後もマツダブランドのより一層の魅力向上に努め、お客様との特別な関係、強い絆を築いていきます。」



マツダ、コンセプトモデル「MazdaRX-VISION」を世界初公開

一次世代ロータリーエンジン「SKYACTIV-R」を搭載したマツダの夢を表現したモデル

マツダ株式会社は、「第44回東京モーターショー」(主催:一般社団法人日本自動車工業会)において、マツダの「飽くなき挑戦」を象徴するロータリーエンジン(RE)を搭載したスポーツカーのコンセプトモデル「MazdaRX-VISION(マツダ・アールエックス・ビジョン)」を、世界初公開しました。

「RX-VISION」は、デザインテーマ「魂動(こどう)Soul of Motion」にもとづき、マツダが考える最も美しいFRスポーツカーの造形に挑戦するとともに、次世代REの「SKYACTIV-R(スカイアクティブアール)」を搭載した、マツダがいつか実現したい夢を表現したモデルです。

ロータリーエンジン(RE)は、三角形のローターが回転することによって動力を生む、独自の構造をもつエンジンで、マツダのたゆまぬ挑戦と創造を象徴する存在となっています。

現在は生産を行っていませんが、マツダはREの研究・開発を続けています。「SKYACTIV-R」という名称には、SKYACTIV技術の開発時と同様に、「常識を打破する志と最新技術をもって課題解決に取り組む」という意味が込められています。



マツダの新塗装技術「アクアテック塗装」が第6回ものづくり日本大賞「内閣総理大臣賞」を受賞

このたび、第6回ものづくり大賞において、揮発性有機化合物とCO2を同時に削減する新塗装技術「アクアテック塗装」が、内閣総理大臣賞を受賞しました。ものづくり日本大賞の「製造・生産プロセス」部門の内閣総理大臣賞は、製造・生産工程における画期的なシステムや手法の開発・導入によって、生産の抜本的効率化など、生産革命を実現させた個人又はグループを表彰するものです。

マツダが内閣総理大臣賞を受賞するのは、今回が初となります。

「アクアテック塗装」とは、マツダのスリーウエットオン塗装で実現している世界最高水準の低エネルギー消費量(CO2)を増加させることなく、VOC(揮発性有機化合物)排出量を抑制した、最も環境負荷の少ない塗装技術。

新入会員

11月に2件のご入会がありました。下記のとおりです。

入会月	会員名	会員名
・11月 個人会員	大島 義孝 様	個人会員 岡信実 様

新会員様ご紹介のお願い

三次郷心会では郷心会活動の一層の前進を目指し、新会員を募集しております。ご紹介いただける場合、気軽に三次郷心会事務局までご連絡ください。

郷心会の本年度のスローガン

- 広めよう郷心会の和
- ・郷心会の活動にもっとみなさん参加しよう。
- ・会員同士の繋がりをもっと強化していこう。
- ・郷心会の活動をもっと地域に発信しよう

本紙に関してのお問合せ、またご意見等は、下記宛にお願いします。

三次郷心会 事務局 西、上馬場 まで 〒728-0021 三次市三次町 1843-1 三次商工会議所ビル内

TEL:0824-63-0673 FAX:0824-63-3064 e-mail: nishi.t@mazda.co.jp